

日本看護協会委託事業
「自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント(神奈川県との共催)」
実施報告書

1 日時

令和6年1月27日(土) 13:00～16:00

2 場所

神奈川県看護協会第1研修室 及び 会議室2

3 内容

- ①さまざまな場所で活躍する自治体保健師の魅力について講演(アーカイブ配信)
- ②自治体保健師との相談会…神奈川県は10自治体25名(うち保健師職能委員7名)が対応

4 参加状況

申込者 54名 参加者 42名 (来場 38名、オンライン相談 4名)

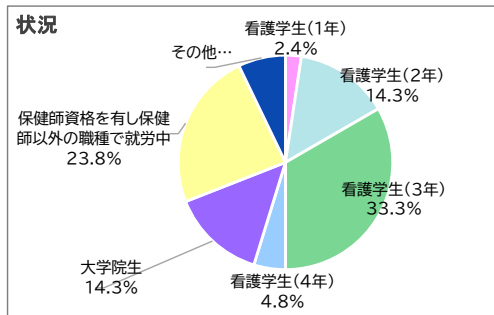
5 自治体保健師との相談会 相談件数

延110件 厚木市7件、海老名市10件、神奈川県17件、川崎市14件、相模原市9件、座間市4件、(1枠15分) 茅ヶ崎市7件、藤沢市10件、横須賀市10件、横浜市22件 (自治体名は五十音順)

6 参加者の状況 n=42

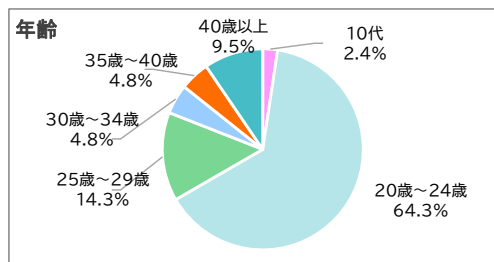
看護学生(1年)	1
看護学生(2年)	6
看護学生(3年)	14
看護学生(4年)	2
大学院生	6
保健師資格を有し保健師以外の職種で就労中	10
その他 ※1	3

*1 看護師として就業中
 准看護師資格保有、保健師資格取得の大学へ編入希望



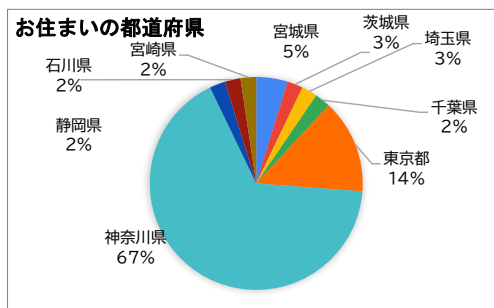
7 年齢 n=42

10代	1
20歳～24歳	27
25歳～29歳	6
30歳～34歳	2
35歳～40歳	2
40歳以上	4



8 お住まいの都道府県 n=42

宮城県	2
茨城県	1
埼玉県	1
千葉県	1
東京都	6
神奈川県	28
静岡県	1
石川県	1
宮崎県	1



※参加者・自治体対応者からのアンケート結果は日本看護協会が委託した業者が集計中のため情報なし

保健師職能委員会より (工夫した事など)

- ・神奈川県と共催としたことから、参加自治体への協力依頼がスムーズにでき、幅広い周知が可能となった。
- ・県外や遠方から来場が困難な方が相談できるようリモート相談利用を促し4名の利用があった。
- ・相談会場の設営は、各自治体名を印字して卓上上り旗、椅子カバー、かながわかんごちゃんが発行されたエコバックを作成し、統一感を持たせた。
- ・アーカイブ配信と相談は並行して行い、イベント開始直後より相談希望者に対応できる体制を整えた。
- ・能登半島地震の保健師支援の写真展示、神奈川県の「保健師就学資金貸付事業のご案内」や自治体の就職情報等を配布資料として提供した。